

計画段階評価の結果等一覧

【道路事業】

実施箇所	解決すべき課題等、原因	達成すべき政策目標	複数案との比較	対応方針
<p>一般国道5号 創成川通 (北海道)</p>	<p>(課題等) (1)都市機能活用の最大化(都心アクセス強化) ・北海道新幹線札幌延伸の効果を全道に波及させ、札幌都心部に集積する観光・暮らし・防災等の都市機能を最大限活用し、全道の成長力を牽引するためには、札幌都心部～高速道路間のアクセス性に課題 (2)企業・経済活動支援(産業) ・札幌都心部で進展する再開発や企業、経済活動の活性化のためには、札幌都心部への物流・人流の定時性及び安全性に課題。 (3)暮らし(医療) ・道央都市圏等から札幌市への救急搬送時における救命率向上のためには、高次医療施設の集積する札幌市への速達性に課題。</p> <p>(原因) (1)都市機能活用の最大化(都心アクセス強化) ・創成川通は複数の主要幹線道路と交差することから信号交差点密度が高く、主要渋滞箇所指定されている交差点が5箇所存在し、特に冬期は速度低下による混雑や渋滞が発生。 ・札幌自動車道の札幌北IC(千歳方面)出口で慢性的に渋滞が発生しており、都心部への円滑な移動を阻害。 (2)企業・経済活動支援(産業) ・創成川通は市内や空港・港湾、道内各地から多くの物流が集中するが、死傷事故率は全道平均の約6倍と高く、事故危険区間の交差点が12箇所存在。 ・様々な施設が集積する都心発着交通の定時性・安全性の高い道路が必要 (3)暮らし(医療) ・創成川通は交通量が多いため信号交差点で車線の閉塞が発生しやすく、救急搬送に支障。 ・幹線道路との交差点を中心とした混雑に加え、冬期は積雪等の影響による速度低下で搬送時間が増加。</p>	<p>(1)都心アクセス強化による都市機能活用の最大化 (2)都心立地施設への物流等の安定性向上による企業・経済活動支援 (3)高次医療施設への速達性向上による安心できる暮らしの確保</p>	<p>[案①] 地下整備案(事業費約1,000～1,200億円) 〈地下構造で全線別線整備を行う案〉 (1)都心アクセス強化による都市機能活用の最大化 ・旅行速度が制限速度と同程度まで向上 ・冬期の積雪や凍結等の影響を受けず、定時性が向上。 ・高速道路と接続するランプの設置により出口渋滞が解消。 ・重要施設の支障がなく、効果の発現に期待。 (2)企業・経済活動支援 ・年間を通じて港湾・空港と札幌都心部の定時性が向上。 ・危険物積載車両の通行制限となる可能性がある。 ・物流交通とその他交通が分離され、交通事故が低減。 (3)安心できる暮らしの確保 ・信号交差点を回避し、速達性が向上。 ・冬期の積雪や凍結等の影響を受けず、定時性が向上。</p> <p>[案②] 一部高架整備案(事業費約1,000～1,200億円) 〈高架構造で別線整備を行う案〉 (1)都心アクセス強化による都市機能活用の最大化 ・旅行速度が制限速度と同程度まで向上 ・高架部で冬期積雪等の影響を受け、定時性向上は限定的。 ・高速道路と接続するランプの設置により出口渋滞が解消。 ・重要施設が支障となり、効果の発現に時間がかかる懸念。 (2)企業・経済活動支援 ・高架部で冬期積雪等の影響を受け、定時性向上は限定的。 ・危険物積載車両の通行制限は生じない。 ・物流交通とその他交通が分離され、交通事故が低減。 (3)安心できる暮らしの確保 ・信号交差点を回避し、速達性が向上。 ・高架部で冬期積雪等の影響を受け、定時性向上は限定的。</p> <p>[案③] 上下線構造分離案(事業費約850～1,050億円) 〈案①地下整備と案②一部高架整備を組合わせた案〉 (1)都心アクセス強化による都市機能活用の最大化 ・旅行速度が制限速度と同程度まで向上 ・冬期積雪等の影響範囲が案②より小さく定時性が向上。 ・高速道路と接続するランプの設置により出口渋滞が解消。 ・重要施設の支障がなく、効果の発現に期待。 (2)企業・経済活動支援 ・冬期積雪等の影響範囲が案②より小さく定時性が向上。 ・一方が危険物積載車両の通行制限となる可能性がある。 ・物流交通とその他交通が分離され、交通事故が低減。 (3)安心できる暮らしの確保 ・信号交差点を回避し、速達性が向上。 ・冬期積雪等の影響範囲が案②より小さく定時性が向上。</p> <p>[案④] 現道活用品(事業費約85～170億円) 〈現道活用(交差点部の右折車線設置等)を行う案〉 (1)都心アクセス強化による都市機能活用の最大化 ・右折車の滞留が解消し、旅行速度がやや改善 ・冬期の積雪や交差点の連続により定時性は向上しない。 ・高速道路の出口渋滞は解消しない。 ・新幹線等を見据えた効果の発現が限定的。 (2)企業・経済活動支援 ・港湾・空港と札幌都心部との定時性向上効果は小さい。 ・危険物積載車両の通行制限は生じない。 ・交通事故の大きな低減は期待できない。 (3)安心できる暮らしの確保 ・信号交差点が残存し、交差点部での速度低下が残存。 ・冬期の積雪や交差点の連続により定時性は向上しない。</p>	<p>[案①] 地下整備案を選定 (理由) ・[案①] 地下整備案は、ほかの案に比べ、「都心アクセス強化による都市機能活用の最大化」、「都心立地施設への物流等の安定性向上」による企業・経済活動支援、「高次医療施設への速達性向上」というすべての政策目標面で優れている。 ・地域意見聴取結果においては、「都心部～札幌北IC間の速達性・定時性の向上」、「札幌北ICの出口渋滞解消」「冬期における定時性の向上」が重視されており、「工事中の交通規制の影響」「建設に要する費用」「重要施設や家屋等への影響」への配慮を望む意見が多く挙げられ、札幌市民への情報提供においても「沿道環境(景観・騒音等)の影響」「重要施設を含む沿道用地への影響」への配慮を望む意見が多く寄せられ、[案①]はこれらの事項に対して総合的に配慮できるため地域のニーズにも応えられる。 ・出入口(ランプ)の設置位置は、札幌都心部へのアクセス性や札幌自動車道等との円滑な接続に資する配置を検討する。</p>